

# Challenge 第9号

## 『いよいよ中学校生活はじまる』

入学式から約2か月。ようやく学年開きの学年集会を開くことができました。

私たち44回生の学年スローガンは『幸せになろう』です。幸せの形はいろいろありますが、みんなが卒業していく時、江井島中学校で3年間学べてよかったな。この仲間と一緒に過ごせてよかったなと思えるような学年になればいいなと思います。これはみんなもそうですが、先生たちにとっても同じです。そのために、3つのことを考えていきたいと思います。

1つ目は、思いやりの心をもって、お互い暖かい言葉遣いをしましょう。人の嫌なところや欠点を見つけるのは簡単ですが、そうではなくて、仲間のいいところを探してみましょう。そうすれば、お互いに高めあえる集団になっていきます。2つ目は、どんなことにも一生懸命に楽しく取り組んでいって欲しいと思います。一生懸命頑張れば、成功したときはもちろん、たとえ失敗したとしても、大きな感動と経験が残されるものです。人にはそれぞれ得意なことと、苦手なことがあります。得意な分野では仲間をリードしてってもらいたいし、苦手なことでも自分のできる範囲で頑張ってください。3つ目は、チャレンジをたくさんしてください。みんなは可能性の塊です。みんなの中にどんな才能が眠っているかわかりません。興味があることにはどんどんチャレンジしてください。そんなみんなのチャレンジをお互いに応援していけるといいですね。

次に生活面です。以前の学年通信でも少し書きましたが、中学校では自治が基本です。みんなが安心して生活するためには基本的なルールが必要です。『江井島中学校の生活のきまり』がそのルールにあたります。このルールをしっかり守ったうえで、みんなの中から色々な提案がでてくる事を楽しみにしています。自分たちの中学校生活を自分たちの手でより充実させていきましょう。

さて、三宅先生からは学習面についてお話がありました。お話は3つ。

1つ目は、宿題についてです。宿題は学んだことを定着させ、学力を高めるためのものです。タイムリーに取り組むことで、学んだことを忘れにくくなったり、理解しやすくなります。また、提出期限を守るということは社会にでていくととても大切なことです。期限を守り宿題を仕上げることは大人への第1歩でもあります。2つめは宿題とも関係してきますが、中学校の学習内容は小学校のときと比べて難しくなり、範囲も広がります。それを定着させるために復習をすることが不可欠です。特に国語、数学、英語は日々の積み重ねの上に新たな内容を学んでいくことになるので、教科書を読んだり、授業ノートを見返したりして毎日の復習に取り組みましょ

う。3つ目は中学校卒業後、進学や就職など様々な道に進みます。その時に目安になるのが成績です。成績は学習項目ごとに設定された目標をどれだけ達成できているかで決まります。中学校のテストでは順位が出ますが、その順位だけ成績が決まるわけではありません。まだまだ、卒業後の進路は想像できないかもしれませんが、自分が進みたい道ができた時、その夢や目標が叶えられるように各自ができる最大限の努力をして、将来の進路決定に向けて備えましょう。

## 『決定！ 学級目標』

1組 「ルールを守り自分から行動しよう。」

2組 「夢に向かって飛びたとう！笑顔の絶えないすばらしい仲間」

3組 「一致団結 どんな時も積極的に」



給食 始まりました

思っていたよりもとてもおいしかったという感想がほとんどでした。しっかり食べて、大きくなろう！



委員会活動 始まりました